

コミュニティ・デザインの実験場“上町台地”から広がるまちづくりの実践と研究の物語

## 『地域を活かす つながりのデザイン - 大阪・上町台地の現場から』

### 【 要旨 】

社会の変化とともに、まちづくりのテーマや担い手のあり方も大きく変わりつつある。まちの暮らしを持続的に支えていく新たな仕組みづくりが求められ、地域資源を活かしてコミュニティの力を育てていくまちづくりが、各地で模索されている。しかし、個人化や多様化が進む現代の暮らしの中で、人と人や人と場所の関係を再構築していくためには、従来の枠組みを超えるまなざしや知恵が欠かせない。そこにつながるデザイン（コミュニティ・デザイン）という共通項が浮かび上がってくる。

本書で具体的に取り上げているまちの現場は、大阪の都心部を南北に走る上町台地境界である。長屋再生、コリアタウンと多文化共生、暮らしの拠点としての寺院、地域防災・減災やコミュニティ・ツーリズム、人と場所をつなぐネットワーキングの仕掛けなど。上町台地境界をフィールドに、産・学・地域協働の多彩な取り組みを展開する実践者と研究者が、それぞれの立場を越えて知恵を持ち寄り、上町台地の現場から地域を越えて、持続可能なまちづくりとは、コミュニティ・デザインとは何かを問いかける。



【 編者 】 上町台地コミュニティ・デザイン研究会

( 渥美公秀、高田光雄、新川達郎、弘本由香里、山口洋典 )

【 執筆 】 秋田光彦、渥美公秀、オダギリサトシ、小原憲太郎、加茂みどり、宋悟、高田光雄、筒井洋一、新川達郎、早川厚志、弘本由香里、富士原純一、山口洋典、六波羅雅一 ( 50 音順 )

【 発行所 】 創元社 ( tel.06-6231-9010 )

【 体裁・仕様 】 A5 版・並製 248 頁

【 価格 】 本体 2000 円 + 税

【 発行日 】 2009 年 4 月 10 日

## 【目次構成】

<b>はじめに</b>	弘本由香里(大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所客員研究員)
<b>第1章 まちを見つめる</b>	
市民社会におけるコミュニティ・デザイン	新川達郎(同志社大学大学院総合政策科学研究科教授)
<b>第2章 おもいを馳せる</b>	
コミュニティの非日常から日常へのダイナミクス	渥美公秀(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授)
<b>第3章 知恵に学ぶ</b>	
地域の歴史・文化を再構築する 空堀・長屋再生	六波羅雅一(六波羅真建築研究室代表、からほり倶楽部代表理事)
補論 大阪長屋の歴史と再生ムーブメントに学ぶもの	弘本由香里(大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所客員研究員)
<b>第4章 ちがいに気づく</b>	
マイノリティの声で暮らしを変える コリアタウン・多文化共生	宋 悟((特活)コリア NGO センター代表理事)
補論 多文化共生とまちづくり	高田光雄(京都大学大学院工学研究科教授)
<b>第5章 いのちを見つめる</b>	
お寺の資源力を活かす 市民参加型寺院・應典院の実験	秋田光彦(大蓮寺・應典院住職)
補論 現代における「モンス」としての宗教施設の可能性	山口洋典(應典院主幹・同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授)
<b>第6章 いとなみを結ぶ</b>	
ネットワーク型まちづくりでつながる・まとまる・ひろがる	山口洋典(應典院主幹・同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授)
補論 地域資源と人とつなぐ「上町台地.cotocoto」が目指したもの	小原憲太郎((株)インデックス事業開発局)
<b>第7章 おもいをつなぐ</b>	
ミクロな拠点づくりからネットワークを補完・拡張する NEXT21/U-CoRo プロジェクト	弘本由香里(大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所客員研究員)
補論 NEXT21 のコンセプトと住棟内コミュニティ実験の成果	加茂みどり(大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所主任研究員)
<b>第8章 未来を見据える</b>	
「ひと」と「まち」の関係性とコモンズの視点	高田光雄(京都大学大学院工学研究科教授)
<b>コラム</b>	
上町台地と減災 つながりのデザイン	早川厚志(まちづくり工房代表、からほり倶楽部事務局長)
地域資源を活かしたコミュニティ・ツーリズムの可能性	オダギリサトシ ((株)インブリージョン ツーリズムプロデューサー)
地域SNSが地域に根差すには	筒井洋一(京都精華大学人文学部教授)
持続的地域コミュニティ構築への一提言	富士原純一((有)富士原文信堂代表取締役)
<b>おわりに</b>	山口洋典(應典院主幹・同志社大学大学院総合政策科学研究科准教授)